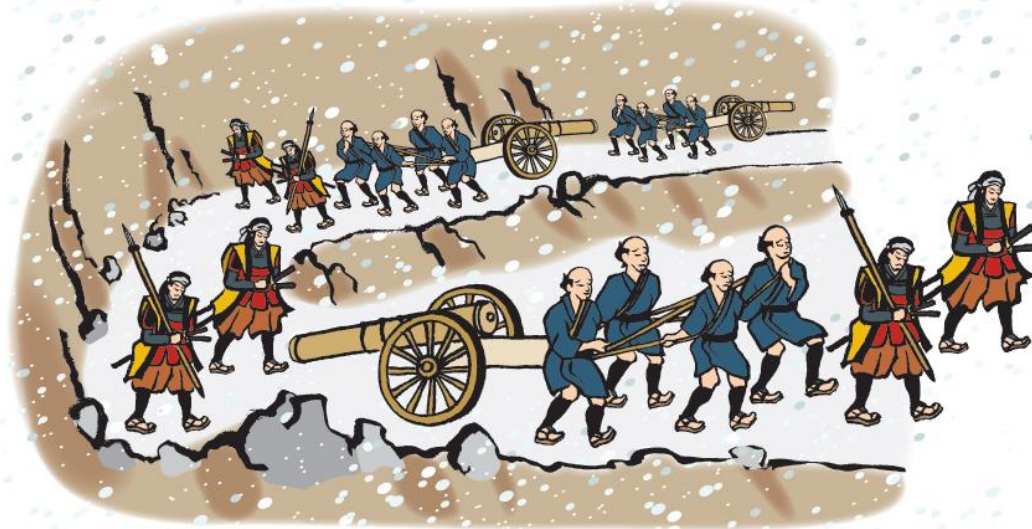


大野に残る 天狗党の足跡

～抵抗ともてなし～



幕末。水戸・筑波山で尊王攘夷の氣勢を上げた天狗党は、道中諸藩との武力衝突を繰り返しながらも、一路、前藩主・水戸斉昭の子の一橋（後の徳川）慶喜が駐在する京を目指しました。天狗党接近の知らせを受けた大野藩内の様子について、残された資料をもとに紹介します。

展示資料

伝藤田小四郎所用陣羽織

※5～6月、10月～11月の計4カ月のみ期間限定公開

西谷村の焼け残った土蔵の戸

水戸浪士追討一件（柳廻社蔵）

笹又番所宛 安藤彦之進書状（個人蔵）

会 期：令和3年 5月1日（日）～12月26日（日）
（期間中無休）

会 場：大野市歴史博物館 第1展示室
（大野市図書館 となり）

入館料：個人300円（30人以上の場合150円）
中学生以下は無料

